

中国自然歩道 石畳道

この石畳道は、むかしは大山の北東にある野添と野井倉地域から始まり大山寺へと続いていた歴史的な修験道の一部である。大山寺の力が何世紀もの間に強まるにつれ、川床登山道には修験者、記念行事への参加者、博労座へ動物を連れて行く商人など、多数の人々が行き交っていた。現在、400 年経つ石畳は今も道の形状を残しており、地藏菩薩像が、かつて修験者たちに行っていたようにハイカーたちにあいさつをしている。